

## 提 案 書

提案名	みなとみらい国際邦楽フェスティバル(伝統邦楽と和楽器の紹介)
グループ名	日本芸術文化国際センター邦楽プログラム (旧称・横浜インターナショナルスクール 邦楽プログラム、注:2011年1月より新名称)
グループの現在の主な地域社会貢献活動の内容及び最近5年以内の実績	<p>◎地域での貢献活動:(公演タイトル、公演年・月、会場)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜交流フェスタ演奏、2005年10月、パシフィコ横浜</li> <li>・横浜開港150周年記念式典での演奏、2009年5月、赤レンガ倉庫</li> <li>・2009年ディワリ・イン・ジャパン、2009年10月、東京流通センター</li> <li>・小学部定期演奏会、毎年春季もしくは秋季に開催、横浜市妙香寺</li> <li>・中高等部定期演奏会、毎年春季および冬季に開催、県民共済みらいホール</li> <li>・みなとみらいアマチュア室内楽フェスティバル2010、2010年2月、みなとみらいホール</li> </ul> <p>◎最近5年以内の実績:(公演タイトル、公演年・月、会場)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日豪文化交流年記念オーストラリア演奏会、2006年5月、オーストラリア</li> <li>・アメリカ東部演奏ツアー、2008年3月、ニューヨーク、ニュージャージー (アメリカ)</li> <li>・招聘演奏会、2008年11月、デンマーク大使館(東京)</li> <li>・招聘演奏会、2009年9月、国際文化会館(東京)</li> <li>・第29回国際音楽教育協会ISME国際大会にて招聘演奏、2010年7-8月(北京・中国)</li> <li>・招聘演奏会、2010年12月、TEDxConference カナダ大使館(東京)</li> </ul>
助成金を受けて行う活動の目的  (「地域における良好な環境や地域の価値の維持・向上」にどう資するか具体的に記入してください。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜インターナショナルスクールに設置された「日本芸術文化国際センター」(ICJC)では、幼稚園から高等部まで一貫教育の場において、日本の伝統文化および近現代芸術・文化教育をテーマに様々なプログラムを提供しています。2011年1月に旧称「横浜インターナショナルスクール邦楽プログラム」より「日本芸術文化国際センター」に名称変更し、さらに教育・芸術・文化プログラムの充実、ゲスト講師によるレクチャー・シリーズ、パフォーマンス等を企画し、学校内のみならず、地域の方々にもより深く日本伝統文化・芸術に親しんでいただけるセンターを目指しています。</li> <li>・今回の「みなとみらい国際邦楽フェスティバル」では、みなとみらい近郊の小中高校の生徒を対象に参加型ワークショップと定期演奏会を行います。インターナショナルスクールという場所柄、演奏する生徒たちは国籍も多岐にわたります。ワークショップでは、地域の小中高校の生徒たちとの交流を図り、邦楽をより身近に感じてもらうとともに、国際都市としての横浜にふさわしい交流の場づくりを図ります。</li> <li>・また、横浜みなとみらい近郊の養護老人施設等の方々を対象に演奏会への招待を予定しており、邦楽に親しんでいただくことも目的のひとつです。</li> <li>・ICJC邦楽プログラムはこれまで国内外で数多くの演奏を行ない、邦楽の国際的普及に努めてきました。今回の「みなとみらい国際邦楽フェスティバル」では、国際都市横浜みなとみらい地区のより幅広い年齢層の方々へ邦楽を紹介し、地域を文化・音楽によってさらに活性化させていきたいと考えています。</li> </ul>
助成金を受けて行う活動の内容	<p>青少年教育支援邦楽ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施時期: 2012年3月15日～3月16日(1:00PM開演)(公演数:2) (於、県民共済みらいホール)</li> </ul> <p>青少年教育支援邦楽ワークショップは、みなとみらい近郊の小・中・高校およびの生徒を対象に行われる。</p> <p>内容(予定):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>—参加型のデモンストレーション方式により、十三弦箏、十七弦箏、三味線などの邦楽楽器の由来、特性、奏法などを紹介。</li> <li>—ワークショップでは、邦楽と世界音楽の比較対照にも言及。</li> <li>—ワークショップは横浜インターナショナルスクールの生徒たちが主体となって行う。国籍が多岐にわたる生徒たちだが、言語は主に英語と日本語の二カ国語を使用する予定で、参加する地域の小中高生にとっては、自国の文化を多国籍の同世代の生徒たちから学ぶ貴重な機会になると期待される。(注:ワークショップ時は、日本語を話す学生及び日本語が母国語の教員・スタッフがいるため、言語面での問題はありません)。</li> </ul>

	<p>みなとみらい国際邦楽フェスティバルコンサート  ・実施時期： 2012年3月15日～3月16日（7:00PM開演）（公演数：2）  （県民共済みらいホール）</p> <p>ICJCの中高等部邦楽アンサンブルメンバー（様々な国籍の12-17才の生徒から成る36名のグループ）によるコンサートを開催する。古典曲から、宮城道夫・沢井忠夫・中島靖子・吉崎克彦・大竹和久・沢井比河流らによる現代曲も披露する。招待の地域の方々に親しみのある曲も選曲の予定。</p> <p>・これまでの当団体の活動は、母体がインターナショナルスクールという性格上、海外公演や、国内においても大使館での演奏等、対象とする観客は主に外国人とすることが多かったが、今回の活動では、特に、地域（横浜みなとみらい）の幅広い年齢層の方々に、「（日本語を母国語としない）外国人が演奏する邦楽」という当団体の活動を広く周知していただき、ワークショップおよび地域の高齢者のコンサートへの招待等を通じ、地域の人々と地域に根ざす外国人との国際交流を図り、より地域に開かれた邦楽普及・芸術活動への足がかりとしたい。</p>
<p>今回の提案の特徴その他特にPRしたい点</p>	<p>・横浜港（みなとみらい地区）は、歴史的に商業および文化の両面において、国際的な交流の場でした。この歴史を尊重し、次の世代に伝えていくために、「日本芸術文化国際センター国際邦楽フェスティバル」では特に、地域の方々と、国際的バックグラウンドを持つ横浜インターナショナルスクールの生徒たちとの間の交流と相互理解を目的としています。学校や老人施設など地域の幅広い年齢層の方々に、多国籍の生徒たちが演奏する日本の伝統音楽を聴いていただき、ワークショップを体験していただきたいと考えています。</p> <p>・「多国籍の生徒たちが演奏する日本古来の音楽」。この私どもの活動を地域の方々に広く知っていただき、音楽を通じて、横浜みなとみらいという国際都市の場で、今後さらにその活動を国際交流・文化交流の小さな根として地域に根付かせ、成長させてゆきたいと考えています。</p> <p>・普段なかなか触れる機会のない「邦楽」「箏」の世界を地域の方々と共有し、地域の文化交流の場となることを図ります。</p>

### 活動計画

4月	予定会場である県民共済ホールの予約（2012年3月15・16日）
5月	地域の小中高校にワークショップの開催を告知開始
6月	地域の養護老人ホーム、その他シニアセンター等にコンサートの告知開始 地元の小中高校への告知も継続
7月	ワークショップおよびコンサートのプログラム内容の決定 演奏者に楽譜配布 ワorkshopの実務責任者を決定
8月	演奏リハーサル開始
9月	ワークショップへの参加校を確定 養護老人ホーム・シニアセンターなどからのコンサート招待客を確定。送迎バスの準備（必要であれば）演奏リハーサル
10月	コンサートおよびワークショップの告知資料制作開始。チラシ等は日英二カ国語で掲載予定（演奏リハーサル）
11月	演奏リハーサル
12月	演奏リハーサル メディア向けにプレス資料を送付。国内新聞および英字新聞、雑誌、フリーペーパー等
1月	会場とコンサートとワークショップについて詳細打ち合わせ 演奏リハーサル / メディア向け告知継続
2月	演奏リハーサル
3月	最終調整 コンサートリハーサル、ワークショップリハーサル

日本芸術文化国際センター  
邦楽プログラム

2009年～2011年フォトギャラリー



2010中国ツアー： 高等部上級邦楽アンサンブル



2010春演奏会： 中等部2年生邦楽アンサンブル



2009国際交流会館： 高等部上級邦楽アンサンブル